

- 問1 石狩川流域では、かつて植物が完全に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地が広がっていました。この土地を大規模に開発し、農地や市街地として利用するために行われた工夫として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 周辺の山々から大量の水を流し込み、人工的な湖を作って水運を盛んにする
 2. 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う
 3. 地面の下にある岩盤を削り、土地を平坦にしてから地下水を注入する
 4. 大規模な植林を行い、地中の水分を吸収させて森林面積を拡大させる
- 問2 北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
 2. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
 3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
 4. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
- 問3 日本で最も長い約4445kmの海岸線を持ち、砂の堆積によってできた砂州や砂嘴、陸繋島などの多様な地形が見られる都道府県における工業の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯の中核として、輸入された原油を精製する石油化学コンビナートや、大規模な製鉄所が海岸沿いに密集している。
 2. 日本最大の自動車工業の拠点であり、製造品出荷額のうち輸送用機械が占める割合が極めて高く、関連工場が集中している。
 3. かつては地域内で産出される石灰や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特殊鋼などを生産している。
 4. 瀬戸内海に面した立地を活かして、古くから造船業が盛んであり、現在は自動車の組み立て工場も多く進出している。
- 問4 北海道の太平洋側で夏に発生する濃霧は、周辺の気候や産業に大きな影響を与えます。この霧が発生する一因となっている、北から南下してくる寒流の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 日本海流
 2. 対馬海流
 3. 親潮
 4. 黒潮
- 問5 日本の生乳処理量を調査した統計において、バターやチーズの原料となる「加工用生乳」の処理量は北海道が全体の約89.3%と圧倒的であるのに対し、直接飲むための「飲用生乳」の処理量は関東や中京圏などでも高い数値を示しています。このような違いが生じる背景について正しく述べたものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 大都市周辺では牛の飼料となる牧草を自給する広大な牧場を確保しやすいため、鮮度が求められる飲用牛乳の生産を独占している。
 2. 加工用生乳は飲用生乳に比べて腐敗しやすいため、消費地から遠く離れた北海道のような冷涼な地域で集中的に加工する必要がある。
 3. 飲用牛乳は加工品よりも市場価格が低いため、輸送コストを抑える目的で、すべての都道府県において消費量に見合った自給自足が行われている。
 4. 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。
- 問6 北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県の全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地へ転用されているため
 2. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため
 3. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本で最も少ないため
 4. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため
- 問7 北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 日露親条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。
 2. 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。
 3. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。
 4. サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。
- 問8 北海道の開拓や歴史的背景に関連して、札幌周辺の状況を説明した記述として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. アイヌ民族の言葉由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。
 2. アイヌ民族の居住区を確保するため、明治政府は石狩平野を聖域として保護し、市街地の開発を禁止した。
 3. 本州からの移住者が開拓使の言葉で新しく命名した地名が定着しており、現在は十勝平野に代わる大規模農地となっている。
 4. 蝦夷と呼ばれた人々が独自の地名を付け、江戸時代に大規模な稲作を行うために石狩平野の扇状地が開発された。
- 問9 日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
 2. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。
 3. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。
 4. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。
- 問10 北海道の製造品出荷額等の内訳について、全国平均では約11.6パーセントにとどまる一方で、北海道では全体の約33.1パーセントと3割以上を占め、最も大きな割合となっている工業部門は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 金属工業
 2. 化学工業
 3. 食品工業
 4. 機械工業
- 問11 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。
 2. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。
 3. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往來をすべて止めている。
 4. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。